

広域振興局長

提出者

住所 〒020-8655 盛岡市菜園一丁目10番1号

氏名 株式会社川徳

代表取締役 荒道 泰之

（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社 川徳	*整理番号			
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市菜園一丁目10番1号	*受理年月日	年 月 日		
エネルギー使用量	2,450 kl	*施設番号			
自動車の使用台数	39 台				
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。				
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況					
その他の地球温暖化の対策の実施状況					
変更年月日及び理由	年 月 日				
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない				

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
パルクアベニュー・カワトク	〒020-8655 盛岡市菜園一丁目10番1号	1,782 kl
アネックスカワトク	〒020-0117 盛岡市緑が丘四丁目1番50号	626 kl
川徳商品センター	〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南2-4-19	42 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		()年度								
		数値 A	単位 B	数値 C	単位 D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL		kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL					
	揮発油(ガソリン)		kL		kL					
	ナフサ		kL		kL					
	ジェット燃料		kL		kL					
	灯油	9.30	kL	339	kL	339	23		23	
	軽油		kL		kL					
	A重油		kL		kL					
	B・C重油		kL		kL					
	石油アスファルト		t		t					
	石油コークス		t		t					
	石油ガス									
	液化石油ガス(LPG)		t		t					
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
	石炭	輸入原料炭		t		t				
		原料炭		t		t				
		コークス用原料炭		t		t				
		吹込用原料炭		t		t				
		一般炭		t		t				
国産一般炭		t		t						
輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t		t						
コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m ³		千m ³						
高炉ガス		千m ³		千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³						
転炉ガス		千m ³		千m ³						
都市ガス	9.70	千m ³	437	千m ³	437					
その他の燃料 ()										
その他燃料 ()										
非化石燃料	黒液		t		t					
	木材		t		t					
	木質廃材		t		t					
	バイオエタノール		kL		kL					
	バイオディーゼル		kL		kL					
	バイオガス		千m ³		千m ³					
	その他バイオマス		t		t					
	RDF		t		GJ/t					
	RPF		t		GJ/t					
	廃タイヤ		t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t					
	廃油		kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³					
	混合廃材		t		t					
	水素		t		t					
	アンモニア		t		t					
	その他燃料()									
小 計 ①						776	23		23	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ					
	温水		GJ		GJ					
	冷水		GJ		GJ					
	地熱		GJ		GJ					
	温泉熱		GJ		GJ					
	太陽熱		GJ		GJ					
	雪氷熱		GJ		GJ					
小 計 ②										
小 計 ③										
電気	電気事業者①	10,901.00	千kWh	94,185	千kWh	94,185	5,200		5,200	
	電気事業者② ※償還契約している場合使用		千kWh		千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh				
		水力		千kWh		千kWh				
		風力		千kWh		千kWh				
		その他		千kWh		千kWh				
	小 計 ④						94,185	5,200		5,200
合 計 ④=①+②+③+④						94,961	5,223		5,223	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,450	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	5,223 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふっ化硫黄の排出量		t-CO ₂
合 計		5,223 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・照明エネルギーの効率化に取り組みました。(昨年以上に高効率化、LEDへの代替化)
- ・フロアごとの消費電力調査を実施、今後の削減の取り組みを検討しました。

【具体的な取組状況】

- ・照明エネルギーの効率化 年間 7,900kwhの削減

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・空調温度及び湿度の管理を実施
- ・空調の外気冷房を活用し
- ・照明スイッチのこまめな管理に実施

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（年度）					
自動車			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	38 (18)	28,309 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	64,831 kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	1 ()	kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	39 (18)			64,831 kg-CO ₂	

備考 1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況（進捗状況）】
令和5年度は引き続き燃費向上を目的に、運用管理項目として数値目標は設定せずに取り組みをしたが、結果として燃費18.3km/ℓとなり、前年度比97.3%に留まった。

【具体的な取組状況】
・急発進・急加速の禁止
・暖気運転・エアコンを控えた。
・営業車両入替時にハイブリッド車等の高性能低燃費車を導入し、燃費効率向上に務めた。
・車両別の燃費管理により、省エネ運転を徹底した。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

・駐輪場確保による自転車通勤の誘導
・検品・納品代行による店舗納品車両の削減